

平成 22 年 9 月 17 日に新潟県長岡市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

9 月 17 日 11 時頃に長岡市寺泊吉で突風が発生し、電柱が傾くなどの被害が発生した。また、同日の 10 時 30 分頃から 10 時 50 分頃に長岡市寺泊野積でも突風が発生し、非住家一部損壊などの被害が発生した。

このため本日 (17 日)、新潟地方気象台は職員を気象庁機動調査班として派遣し、現地調査を実施した。

結果は以下のとおりである。

1 長岡市寺泊吉で発生した突風

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と推定した。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・ 飛散物を巻き上げながら移動する渦の目撃情報が複数あった。
- ・ 被害や痕跡は断続的であるが線上に分布していた。

(2) 強さ (藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールで F0 以下と推定した。

(根拠)

- ・ 樹木の枝の折損があったが、周辺の状況から F0 との特定には至らなかった。

2 長岡市寺泊野積で発生した突風

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定できなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・ 被害範囲が比較的狭く、被害や痕跡の分布に、帯状、円状など竜巻やダウンバースト等に特徴的なものは見られなかった。
- ・ 聞き取り調査からも、現象の特定に結びつく目撃情報や証言を得られなかった。

(2) 強さ (藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールで F0 以下と推定した。

(根拠)

- ・ 倉庫の屋根が一部損壊したが、周辺の状況から F0 との特定には至らなかった。

なお、寺泊野積では、昼過ぎに突風による被害が発生したという情報もあるが詳細は不明である。これについては新たな情報が得られれば公表する。